

事業所名

ひまわりのたね わかば

支援プログラム（参考様式）

作成日

20025 年

3 月

7 日

法人（事業所）理念		障害有無にかかわらず、一人一人の成長を尊重し、支援を通じて自立を促すこと。 地域社会と協力し当事者の育成に貢献すること。誰もが安心して過ごせる居場所や環境にて心の成長を促すこと						
支援方針		好きな事はより好きに・得意な事はより得意に						
営業時間 サービス時間		09 13 時	00 00 分から	18 17 時	00 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
対象児		小学1年生		小学2・3・4年生		小学5・6年生		
本人支援	健康・生活	安心・安全に過ごす。学校とわかばの生活リズムや生活習慣が定着する支援をしていく。排せつ後などの手洗いを身に付けられるようにする。		自分で検温・体調を管理チェック表に記入する。学校行事や進級の時期は児童の様子を見ながら無理のない支援を行う。服装・身だしなみを指導員と一緒に確認する。		季節の変化への興味を持ち・服装を整える。身体の発達の変化を知る。プライベートゾーンの確認をする。		
	運動・感覚	外遊び・鬼ごっこで体を動かしながら基本的な動きを身に付ける。工作・折り紙などの微細運動で手や指先を中心とした複雑な動きを取り組む。		公園に行つての活動を多く取り入れる。縄跳び・馬飛び・体幹トレーニング・バランストレーニングの組み入れ。ルールのある遊びを通して約束や集団行動様式を身に付ける。姿勢をよくするための環境づくり。		公園に行つての活動。体幹トレーニング・パランストレーニングを中心とし、持久力を加えた運動を取り入れる。着座時の姿勢保持。		
	認知・行動	指導員と一緒に、ホワイトボードを見ながら一日の流れを確認する。交通ルールを学び上級生や指導員と手を繋ぎ外出をする。		日付・天気の確認をする。活動の区切りをタイマーを使い分かりやすいように支援する。ホワイトボードに書かれた手順と時計を見ながら、自発的な行動を身に付ける。下級生と歩く時、手を繋ぎ下級生を内側にする。		スケジュールを自身で組み立て、場面・活動での切替が出来るように支援する。中学校までの通学路の確認。		
	言語 コミュニケーション	到着時・帰る時の挨拶が出来るように支援する。指導員やお友達の名前と顔を覚える。トイレに行く時は指導員に伝えてから行く。不安や困った時は指導員に伝えられるように支援する。チクチク言葉・ワワ言葉を知る。		自己紹介をする。指導員のお手伝いや、前に立って号令をかける。好きな事・得意な事を発表をしてみる。お友達に質問・インタビューしてみる。自分の事を言葉で伝えられるように支援する。		自分の気持ち・相手の気持ちを伝えられるように支援する。わかばサミットを通して司会・進行など役割を持ち自信・責任感が持てるようにする。		
	人間関係 社会性	お店屋さんごっこなどごっこ遊びを通じて人との関わりを増やしていく。車の乗車時ルール・公園での約束をする。学校や家以外での自分の居場所づくりを支援する。		語彙力を増やす。周囲の人との距離感を確認しながら過ごす。宿題とプログラムの部屋わけすることで、集中力の持続や気持ちの切替をする。物事の良し悪しを指導員と一緒に確認する。		グループでの活動を増やす。自分達でルールを作り、集団活動が出来るようにする。周囲の人との距離感を保てるようにする。下級生との関わりでリーダーシップや責任感を持つことで自己の肯定感を高めていく支援をする。		
家族支援		家庭のみりでの様子を丁寧に伝えあうことで、保護者のコミュニケーションを十分に図り安心してもらうように支援していく。レスパイトの強化：保護者のレスパイトとして延長できる体制をとっている。			移行支援		情報開示承諾により児童の通われている学校や相談事業所等との情報共有を行い生活していく環境や場所をより良いものにしていく。	
地域支援・地域連携		相談事業所・障害福祉課・子育て支援課・川口市小学校・蕨市小学校・埼玉県立川口特別支援学校・川口医療センター・済生会・埼玉県小児医療センター・独協医科大学病院			職員の質の向上		報告・連絡・相談・共有、他施設連携クラス研修・プログラム・会議・BCP研修・新人研修、療育に関わる支援研修、外部研修参加	
主な行事等		プール(夏休み)・作品展・お誕生日会・保護者会・引き渡し訓練・避難訓練・						